# HPE IceWall 技術レポート:

# Microsoft 365(旧 Office 365)とIceWallの SAML 認証連携

2024.7.31 新規掲載

日本ヒューレット・パッカード合同会社 サービスデリバリー統括本部 認証コンサルティング部 神原 健太

# 目次

1.	はじめに	$\dots 2$
2.	IceWall 製品と Microsoft サービスとの SAML 連携	2
	2.1. Microsoft 365とIceWall Federationの連携	2
	2.2. Microsoft Entra IDとIceWall MFAの連携	2
3.	Microsoft 365 との認証連携設定の流れ	3
	3.1. 事前に準備が必要なもの	3
	3.2. 主な設定の流れ	3
4.	クライアント端末での操作画面	5
	4.1. ブラウザでの認証画面	5
	4.2. Outlook での認証画面	6
5.	まとめ	9

## 1. はじめに

本技術レポートでは、Microsoft 365(旧 Office 365)と IceWall の SAML での認証連携について説明します。

## 2. IceWall 製品と Microsoft サービスとの SAML 連携

IceWall 製品と Microsoft サービスとの SAML 連携する場合、2 種類の構成があります。

◎Microsoft 365とIceWall Federationの連携

(IceWall が SAML IdP のパターン)

◎Microsoft Entra ID(旧 Azure Active Directory)と IceWall MFA の連携 (IceWall が SAML SP のパターン)

### 2.1. Microsoft 365とIceWall Federationの連携

IceWall 側でパスワード照合などユーザー認証を行い、Microsoft 365 側では認証連携を行います。 この場合は SAML 構成の役割としては、IceWall Federation が IdP(Identify Provider)となり、Microsoft 365 が SP (Service Provider)となります。

構成例は以下のとおりです。



本技術レポートでは、この構成について詳細を説明します。

### 2.2. Microsoft Entra IDとIceWall MFAの連携

Microsoft Entra ID 側でパスワード照合などのユーザー認証を行い、IceWall 側では認証連携を行います。 この場合は SAML 構成の役割としては、Microsoft Entra ID が IdP(Identify Provider)となり、IceWall MFA の SAML 認証プラグインが SP(Service Provider)となります。

#### 構成例は以下のとおりです。



本技術レポートでは、この構成は詳細説明の対象外となります。

## 3. Microsoft 365 との認証連携設定の流れ

本章は、Microsoft 365とIceWallの認証連携の設定の流れについて、概要を説明します。

詳細な設定手順は IceWall マニュアル「IceWall Federation Version 4.0 SAML IdP Microsoft 365 認証連携ガイド」 をご参照ください。

本章の前提として、IceWall マニュアル「IceWall Federation Version 4.0 SAML IdP 導入ガイド」に従い SAML IdP のインストール、設定が完了している前提で説明します。 設定画面などは 2024 年 6 月時点の Microsoft 365 の仕様に基づいた説明です。

#### 3.1. 事前に準備が必要なもの

認証連携の設定を行うにあたって、事前に以下の準備が必要となります。

- ・Microsoft 365 ライセンス
- ・ドメイン取得

#### 3.2. 主な設定の流れ

1. Microsoft 365 ドメイン作成、認証連携設定を行います。 ドメインの作成は、Azure AD ツール(PowerShell)のコマンドで実施します。

#### 2. ドメインへの役割付与を行います。

Microsoft 365の管理画面から、「Exchange」など使用するサービスを選択し、表示される DNS レコードを登録します。



3. Microsoft 365 のユーザーを作成します。

ユーザーの作成は、Azure AD ツール(PowerShell)のコマンドで実施します。

4. Microsoft 365 のユーザーにライセンスを付与します。

User01 Sigo変更 User01 Sigo変更 User01 Sigo変更 User01 Sigo変更	
アカウント デバイス <b>ライセンスとアブリ</b> メール OneDrive	
<b>場所の選択*</b> 日本 〜	
ライセンス (1)	^
✓ Office 365 E3 1/5 個のライセンスが利用可能	
変更の解存	

- 5. IceWall 側の認証 DB に以下の 2 項目を登録します。
  - ・UPN(Microsoft 365 認証画面に入力するユーザーID)
  - ・ImmutableID(認証連携する際の固有識別 ID)

## 4. クライアント端末での操作画面

本章では、ブラウザでの認証時の操作画面と、デスクトップアプリケーションの Outlook での操作画面を説明します。

## 4.1. ブラウザでの認証画面

1. Microsoft 365の認証画面を表示されるので、Microsoft 365のユーザー名を入力します。

user01@	.net	
 アカウントをお持ちではな	い場合、作成できます。	
アカウントにアクセスできな	い場合	
	=-	
	戻る	次へ

2. Microsoft 365の認証画面で入力したユーザー名のドメインに対応する IdP に自動でリダイレクトされます。 IceWall の認証画面が表示されるので、IceWall のユーザー情報で認証を行います。

\land IceWa	II		2*
	Login		
	ユーザーIDとパスワー	ドを入力して「ログイン」ボタンを押してください。	
	ユーザーID	user01_local	
	パスワード	•••••	
		ログイン	

3. 認証が成功すると自動でリダイレクトが行われ、Microsoft 365の画面が表示されます。

	Microsoft 365	▶ 検索		· 🖓 🖏	? 🕖
<b>今</b> ホーム					^
(土) 作成	Microsoft 365 🗸	ようこそ	-	インストールなど ~	
<b>C</b>					
<b>日</b> フィード	<b></b>	•	開始する	P	
<b>日</b> アプリ		al	新規作成アプリを探索する	X	
	クイック アクセス				
	ি কংব 🕚	最近開いた項目 88 共行	有済み	↑ アップロード = 88	

### 4.2. Outlook での認証画面

※以下の手順1~5は、初回 Outlook 起動時のみ表示される画面であり、次回以降は直接ログイン後画面(メール閲覧画面)が表示されます。

1. Outlook を起動し、「アカウントにサインインまたはアカウントを作成」をクリックします。

Microsoft			000	)
Outlook を開始するにはサインインして ください				
✓ 職場、学校、または個人用 Microsoft アカウントの情報を使用します	W	X	P	
✓ Word、Excel、PowerPoint、Outlook を使用して、作成と共同作業を行います				
✓ OneDrive クラウド ストレージを使用して、デバイス間でドキュメントを保存して共有します	Ν	0		
アカウントにサインインまたはアカウントを作成				
プロダクトキーを所有している場合				
今は行わない				

2. Outlookの認証画面とは別に、小さいブラウザのウインドウが表示されます。

Microsoft 365 のユーザー名を入力し「次へ」をクリックします。

	×	×
Microsoft		
Office ライセンス認証		
メール、電話番号、または Skype		outlook
プロダクトキーを代わりに入力する		
アカウントがない場合 アカウントを 作成しましょう 次へ		メール アドレス
		iwadmin@iw.private
		詳細オブション~
		接続
		アカウントがない場合 開始するには、Outlook.com のメール アドレスを作成します。
©2024 Microsoft ブライバシーに関する声明		

3. IceWallの認証画面が表示されるので、IceWallのユーザー情報で認証を行います。

IceWall		
Login		
ユーザーIDとパスワードを入力して「ログイン」ボタンを押してください。 <b>ユーザーID</b>		Dutlook
username		
パスワード		
password		
	イン	
		細オプション~
		接続
	2	<u>Outlook.com のメール アドレスを作成します。</u>

4. Outlook で使用するメールアドレスの入力画面が表示されるので、Microsoft 365のユーザー名を入力します。

outlook	×
メール アドレス	
詳細オプション ~	
接続	
アカウントがない場合 開始するには、Outlook.com のメール アドレスを作成します。	

5. アカウント追加の成功画面が表示されるので、「完了」ボタンをクリックすると Outlook のメール閲覧画面が表示されます。

	×
outlook	
_	
アカウントが正常に追加されました	
Microsoft 365	
nseint@ tier	
iwadmin@iw.private 次へ	
indainine_inipinates 詳細オプション~	
✓ Outlook Mobile をスマートフォンにも設定する	
完了	

## 5. まとめ

Microsoft 365 と IceWall を SAML 認証設定を行うことで、Microsoft 365 の認証を IceWall 側で行うことが可能と なります。

IceWallを導入している環境に対して、Microsoft 365 サービスの使用追加をご検討の際は、SAML での認証連携 をご検討下さい。

HPE IceWall 技術レポート一覧はこちらをご覧ください。 www.hpe.com/jp/iw-report